

西分御嶽講 (新座市野火止)

講元 長谷川 栄

私共、西分地区は凡そ三百年の昔、野火止用水開削、野火止、菅沢両新田開発により開かれ農夫彼の地より移り住み、農耕を主として集落を成し連綿として今日に至りました。一面の荒野を切り開き、肥沃な大地を生み家族、地域を守り育てて参りました。多くの先人の偉業と始祖の熱き



石段改修工事竣工祭 平成13年8月7日 新座市内8講中

志に感謝の意を強くするものであります。五穀豊穰、郷土安穩の拠所として、作神様としての御嶽神社の御加護を戴き昭和三十年四月五日西分御嶽講が発足し時移り今なお地域融和と連帯の中心的役割を担っております。

去る平成十三年片柳 統一御師様の御教導のもと新座市内八講中(新栄、道場、堀之内辻、石神、中原、八軒、聯合、西分)によりまして、参道石段の合同寄進をさせて頂きました。

真新しい三十一段を踏み締めての竣工太々奉上参拝が、昨日の事のように思い出されます。小さなひとつひとつの力を重ねられた事への喜びと、先人への感謝とお陰様を今また強く覚えるものであります。

私事ですが、中学の恩師の俳句年賀状との出会いから、参拝の度に奉納俳句に投句したところ金子千侍先生のお目に止まり、秀逸のお褒めを戴きました。



参道石段竣工奏上太々参拝 平成13年9月15日

御神前での奉詠、宿坊での直会、先生の一句一句への講評と、心温まるおもてなしにとても至福の時を戴きました。以来、無手勝流に更に磨きをかけ御岳の折々の機微に触れる楽しみが増えました。

私の父も発足以来自転車で近所連れ立って時には月に三度も、また具合の悪い時でも「御嶽様、駒鳥詣」を何よりの楽しみに、思い残す事なく登参を重ね末期のお水は七代の滝より頂戴しました。父亡き後、ケーブルからの参道を歩く度に何か故郷に帰って来たようなとても落ち着いた、和やかな気持ちになり、ホッとしています。世代も変わり、生業も多様化する中小さな講ではありますが、一つ一つの力を合せ先人の徳と御岳の御縁を次世代に継ぎたく思います。「癒しとゆとり」を肌感じる御岳の空間を永く伝えて行きたく思います。

祭の出の日



神と人と子供に歩む

鎧の持参可能です。詳しくはお問い合わせ下さい。



石段に挑む神輿

山伏の入峰儀式が発祥とされ、当社に於いて最も格式が高い祭とされ、日の出祭に御参列・御参加されますと、みたけ様の御稜威をいただき、一年の無病息災・家内安全をお守りいただけるかとされております。このお祭りでは、お供として行列に供奉される方や神輿を警護する鎧武者・健やかな成長を祈念する稚児を募集しておりますのでぜひ御参加ください。



勇壮な武者行列

五月七日 宵宮 午後八時

夕闇・御霊代は絹垣に護られながら、陰燈のやわらかな光に包まれ幻想的な行列が粛々と進みます。

五月八日 本祭・行列出発 午前十時

御岳平(ケーブルカー駅前広場)より神輿を中心とした行列が御師集落を抜け、神の力を戴き三百段の石段に挑みます。

供奉料 三千元・五千元・一万元以上

鎧武者・稚児 供奉無料

「バグニロウマまつり」

自然信仰の姿を色濃く残す御岳山。夏は可憐なレンゲショウマが咲き乱れ、神社周辺もその可憐な姿が楽しめます。8月には「レンゲショウマまつり」とうたい、フォトコンテストや写真展が開催され、親子で楽しめる「昆虫観察会」を始め、夜間は御岳山の神話を語る舞台「にっぽんみたけ話し」などの幻想的なイベントが開催されます。よろしければ夏のご参拝は避暑と鑑賞を兼ねて御来山ください。例年ですとレンゲショウマは9月上旬頃まで楽しめます。お手数ですが、今年度の詳しいイベントの内容は、お問い合わせください。

「レンゲショウマ」としての群生地を関東一と言われ



鯉沼廣行氏による「横笛の夕べ」



親子竹細工教室の「ちょうちん」